

## 保護者・地域の皆様へ

日頃より、学校の教育活動、また、この度の臨時休業期間においても、保護者の皆様には、ご理解とご協力をいただきありがとうございます。

保護者の皆様におかれましては、新型コロナウイルスの感染がなかなか収束に向かわない中での小・中学校の学校再開について、何かと不安な思いをお持ちの方もいらっしゃると思います。

桶川市におきましては、埼玉県教育委員会の通知及び本市の新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、6月1日（月）より、市内小・中学校において、感染拡大防止及び感染症予防対策を徹底した上で、段階的に教育活動を再開することといたしました。

この度の学校再開の判断にあたっては、「子供たちの心のケア」と「学力保障」を重要な課題であると捉えました。

臨時休業が長期に及ぶ中、思うように勉強ができない、外に出られない、友達に会えないなど、子供たちを取り巻く環境は大きなストレスと不安を与えるものであったと考えられます。また、各家庭での個別の学習が基本となる中、子供たちの学びを保障していくことも、大きな課題となっておりま

このような状況が、出口の見えないまま長期化することは、子供たちの健やかな成長にとって大きなマイナスとなることは間違いありません。

この困難な状況だからこそ大人が知恵をしぼり、力を合わせることで、子供たちの学校生活を取り戻す努力が必要だと感じております。

3月3日からの臨時休業は3か月に及びました。子供たちは我慢を続けました。今度は、私たち大人が子供たちの声に耳を傾け、子供たちの笑顔のために、安心・安全な学校生活を送ることができるよう、学校・家庭・地域が一致団結して感染防止に努めることが大切だと考えます。

学校再開においては、子供たちの円滑な学校生活へ繋ぐため、段階的に学校を再開していくとともに、各学校において、いわゆる3つの「密」、密閉・密集・密接が同時に重ならないよう、教室の換気、うがい・手洗いの確実な指導・見届け、児童生徒・教職員のマスク着用など徹底してまいります。また、保護者の皆様にも、毎日の検温と体調確認、マスクの用意などご苦勞をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

また、児童生徒の心のケアについても確実に対応してまいります。新型コロナウイルスに関わる差別的な言動によって、児童生徒が心を傷つけてしまうことのないよう、心の教育とともに、学校職員全体で差別的な言動に対しては、毅然とした態度で指導にあたっております。

この度の学校再開の決定は、総合的に子供たちのことを思っている判断であることを、どうかご理解くださいますようお願いいたします。